

平成 27 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	120400	TEL	2998-9168
事業コード	道路施設維持管理事業	担当部課	道路維持課			
120403		グループ	維持補修			
開始年度		昭和	25	年度	→	終了年度
		平成		年度		

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令	
	分野別計画・指針	道路法、道路構造令、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例				
	関連・類似事業					
	総合計画の体系	章	街づくり	節	道路	基本方針
事業開始の背景	昭和40年代後半から道路の舗装化が進み、現在4m以上の市道実延長約407kmに対し約99%の舗装率となっているほか、4m未満の車両通行可能路線についてもほぼ舗装済みとなっている。これら舗装化された道路は施工時期がほぼ同じであり、いずれも経年劣化が著しいため、穴ぼこやひび割れの緊急修繕の必要性が高まってきている。また、交通量も増加傾向にあり、車両の大型化等も影響して道路舗装の損傷が激しく、計画性をもった路線的な改修の必要性が出ている。					

③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)					
	道路の保全と通行の安全のため、老朽化した路面や機能が低下した道路施設を補修して安全性、信頼性を確保する。老朽化している道路の改修を計画的に行い、道路利用者の安全を確保するとともに、沿道の生活環境の改善を目指す。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)					
	舗装の損傷(穴ぼこ)及び水たまり等が発生した市道		対象数	単位	平成 25 年度	2,816 件
経年劣化による騒音や振動等、路線的な改修を必要とする市道				平成 26 年度	2,899 件	
事業の具体的な内容及び実施方法						
・市民からの要望箇所や職員による道路パトロールにより、修繕等が必要な箇所について現地調査を行い補修等を行う。 ・市で管理する幹線道路等について、大型車交通量や舗装の老朽化等の要因で進行した路面の損傷程度や、沿道住民の生活への影響等、さまざまな状況を総合的に判断し、限られた予算の中で優先度を決めて、計画的に舗装改修を行う。						

④経費	《会計種別》	一般会計	平成 25 年度 (千円)	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	
	当初予算		620,590	684,600	603,850	
	決算(見込み含む)		619,547	684,362		
	(非常勤特別職員)	(0.00 人)	(0.30 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	※「財源内訳」について平成27年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	(臨時の任用職員)					
	正規職員人件費	7.50 人	66,660	8.10 人	70,640	
事業費合計		686,207	755,002			
財源内訳	一般財源	679,057	755,002	603,850		
	国・県支出金	7,150	0	0		
	その他()	0	0	0		

⑤実績	項目名	項目説明	単位	H 25	H 26	H27見込み	将来目標	
	活動実績	要望・通報件数	処理件数	件	2,816	2,899	3,000	2,500
		パトロール件数	処理件数	件	123	456	450	300
		道路舗装改修工事	路線数と路線延長	m	2,092(8路線)	2,134(8路線)	1,087(7路線)	

⑥成果	項目名	項目説明	単位	H 25	H 26	H27目標値	将来目標		
	成果指標	要望・通報処理件数	対応件数/要望件数	件	目標値	2,500	3,000	3,000	2,500
					実績	2,816	2,899	<input type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input checked="" type="checkbox"/> 「実績」縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています			%	達成率	89	103	↑どちらかをチェックしてください	

⑦改善点	平成26年度中に改善した点(どのように改善したか、それにより何がどうなったかを具体的に記載してください)					
	・補修の方法として、天候により補修材を使い分けることによって、穴ぼこの再発防止に効果があった。また、簡易的なアスファルト合材から高温の加熱合材の使用したことにより、より強固な補修をしたことから事故等が減少した。 ・Desknet's Neo等で職員に穴ぼこ等の情報提供を呼びかけたことで、迅速な補修が可能となった。					

⑧評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	道路の保全と道路利用者の安全を確保する必要がある。
			次年度予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	経年劣化やゲリラ豪雨等の異常気象による道路の破損が進む一方で、市民からの要望が増加していることから、その対応が必要である。
	今年度の状況と今後の方向性	・今後も引き続き道路パトロールを強化することで、道路状況を把握し、迅速な修繕を行い道路の安全性を確保していく。 ・市民要望や道路パトロール等を参考に優先順位を決定し、計画的に工事を行っていく。				
評価日	H27.7.24		評価者職氏名	道路維持課長 片岡 秀樹		

⑨環境影響	有益な環境影響	4-3騒音・振動の防止	5-2安心な都市空間の整備	有害な環境影響を及ぼす原因活動	補修・改修工事の実施	規制を受ける環境法令等	有
						緊急事態	有